

# 青ネギ（水耕）

## 特徴

J A 広島北部管内で栽培しているねぎは普通の作り方をする土耕ねぎと水耕栽培施設を利用する水耕ねぎとがある。

現在では水耕栽培が出荷ねぎの大部分を占めている。その背景には、水耕栽培によって連作障害の回避、作業の省力化、生産性の向上が可能になり、また水耕施設を生産者と J A が共に研究開発したことで安価に導入できるからである。

生産技術も生産者自ら研究し確立したもので、病害虫の発生が少なく無農薬栽培も可能である。施設は循環方式で年間5～7回収穫する。

## 作型と品種

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主な品種
周年		○	◎	—	□	—	—	—	—	—	—	○	◎	博多くろねぎ、鴨貝ねぎ

## 作り方

### 1.ほ場の準備

ハウス、栽培プラント、暖房機械など10aあたり1,000万円以上の経費が必要である。

良質な水（地下水）の大量確保が必要。

大雨などでハウスに浸水の恐れがない場所を選ぶ。

### 2.種まき

硬質ウレタンの専用培地に1穴に5～7粒種まきをする。

育苗期間は春、秋で20～50日、夏で7～15日、冬で30～50日。

### 3.定植

発泡スチロール製の定植板の穴に育苗培地を1ブロックずつ定植する。

### 4.管理

培養液はpHは6前後、ECは2前後、温度13～26℃になるように管理する。

ハウス内の温度は20℃前後が好適であるが、冬場は最低3℃以上は確保する。

## 収穫

収穫は草丈60～75cmで最適規格時に行う。

収穫後、外葉や育苗培地を取り除き、結束する。